

曾根東福寺組地蔵堂（旧曾根学校玄関）（長浜市曾根町）

地域で守られ140年



▲北国街道に面して建つ旧曾根学校の玄関。中にお地蔵さんが祀られている



▲大郷第一尋常小学校時代。記念撮影をする生徒たちの後方に丸い屋根が見える（びわ南小学校百年史より）



▲曾根公館敷地にある「曾根学校跡」の碑

建築年 明治9年(1873)
設計・施工 不詳
構造 木造平屋建 瓦葺き
登録有形文化財(平成11年6月)

曾根町の中心部に位置し、北国街道東側に建っている曾根東福寺組地蔵堂は、円弧状の瓦屋根を載せた特異な建築物で、地蔵堂の鞘堂として使われている。

間口2・7m、奥行き2m、高さ3m強で、正面の基盤付き円柱上部に組み物を置き、入り口1・6mに両折の棧唐戸さんかうとを付けている。

これは、地蔵堂から南に約100mの曾根公館敷地にあった旧曾根学校の玄関である。

旧曾根学校は、明治8年、五智院を仮用して開校した。同9年9月小字西倉街道に平屋校舎を新築し、そこへ移転、それが曾根公館の敷地である。

明治19年10月31日、曾根学校は廃校となり、20年11月から尋常科姉川小学校として、26年4月からは大郷第一尋常小学校として使用されるが、同校は明治35年5月、曾根集落の南部に新築された。校舎は、この新築の際に残されたのだろう。

また、玄関部分が現在地に移築された時期を尋ね歩いたが知る人がおらず、曾根公館には明治39年から昭和2年までの間、蚕の原種を育成する施設である滋賀県原産製造所があったので、それが設立された時期ではないかと思われる。

（梶村）

■参考資料

「びわ南小学校百年史」（びわ南小学校）
「東浅井郡志三巻」
「わが町再発見 第2集 ごめんやす おいでやす」（びわ町）



▲醒井郵便局として建てられた醒井宿資料館。柱頭にアカンサスという植物模様の飾りが見られる



▲凝ったデザインの階段手すり（黒壁ガラス館本館）



▲八角形と四角形を組み合わせた格天井（黒壁ガラス館）

純和風の建築物に混じりながら、風景や風土に溶け込み、長年親しまれてきた擬洋風の建築物。小粋な表情からは、近代化への一步を踏み出した自負が感じ取れる。そんな愛すべきまちの象徴たち